

学校図書館だより vol.2

令和6年5月10日 杉並区立高井戸中学校 学校図書館発行 司書 山内麻央

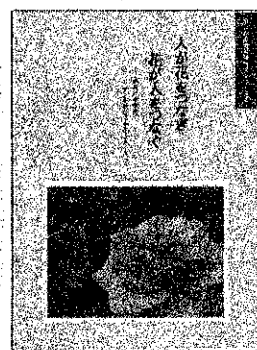
アンネのバラ

今年もアンネのバラが美しく咲いていますね。こんな季節だからこそ、みなさんにぜひ読んでほしい本2冊を紹介します。どちらも学級文庫で読めますが、お家でゆっくり読みたい人は、学校図書館で貸出します。

登下校をいつも見守る、みなさんのそばにいつもある、平和への願いが込められたこのバラは、どのようにやってきて、どのように受け継がれてきたのか。この高井戸中学校が舞台の本です。



『アンネのバラ
40年間つないできた平和のバトン』
國森康広/文・写真 講談社
319 ク



『人が花をつなぎ 花が人をつなぎ
—高井戸中学校アンネのバラ・サポーターズ—』
高橋 晃/聞き書き
小林公広、内藤純子、高井戸中学校アンネのバラ委員会/協力
杉並区立高井戸図書館

今年発行されたばかりの、高井戸図書館地域史シリーズ第4弾。アンネのバラ・サポーターズの代表・鳥生千恵さんの語りです。サポーターズの現3年生のインタビューも掲載されています。

アンネ・フランクとは...

1929年6月12日、ドイツのフランクフルトに生まれる。ユダヤ人への迫害が始まると、アンネの家族や友人家族らと「隠れ家」に移り住む。13歳の誕生日に父から贈られた日記帳に、その日々を1944年8月4日、ナチスの保安警察にとらえられるまで書きつづった。15歳のとき、ユダヤ人強制収容所で病死。

参考文献『ポプラディアプラス』ポプラ社
2017年『アンネ・フランク』加藤純子/文、ポプラ社 2009年

学校図書館のアンネのコーナーには、アンネの伝記や日記、その当時の世界情勢がわかるものがあります。

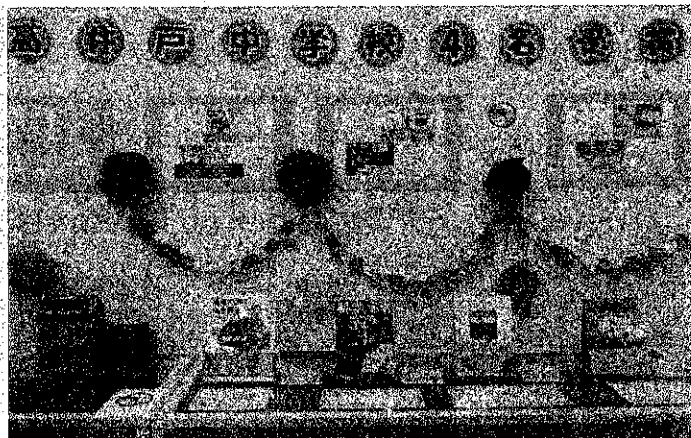


『アンネの日記』
アンネ・フランク
深町眞理子/訳
文芸春秋 949 フ

高井戸図書館にて展示中

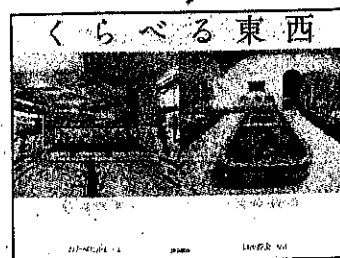
昨年度、国語科・中野先生の授業で取り組んだ本の帯で、「すぎなみ本の帯アイデア賞」を受賞した、2年生のIさん、Mさん、Mさん、Wさんの作品が、高井戸図書館にて展示中です。受賞作品の実物を、間近に見られるチャンスです☆

【6月2日(日)まで】



読んで調べて、修学旅行を100倍楽しむ!

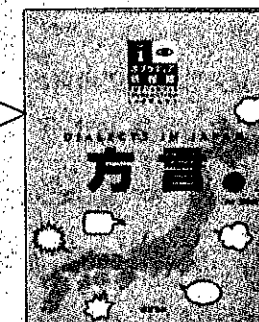
8分類の前に特設コーナーあります。もちろん貸出可!!



『くらべる東西』
おかべたかし/文 山出高士
東京書籍 361 オ

表紙の銭湯のように、東(主に関東)と西(主に関西)の文化の違いを大きな写真付きで解説した本。この本を読んでいくと、この旅行で何に注目してみようか、という目当てが増えるかも。

奈良県では、子どもが親に「ホーセキをねだる」とが普通です。なぜ?



『方言』
ポプラ社 818 ホ

おばんざいは京都の「つね」のことはん。「つね」はいつもの、ふだんどおりの、という意味。

『京のおばんざい』
小宮理実/著 家の光協会
596 コ



シカの目は、瞳孔が横長!? 角の形で年齢がわかる!?

『明日、シカに会いに行こう
—奈良公園で見つけた幸せのかたち—』
佐藤和斗/著 青菁社 489 サ

京都・奈良が舞台の小説

7分類の上に特設コーナーあります。もちろん貸出可!!

京都の寺町三条商店街にポツリとたたずむ、骨董品店「蔵」。その店のアルバイト、高校生の真城葵は、店主の息子で「寺町のホームズ」と呼ばれる家頭清貴とともに、客から持ち込まれる骨董品にまつわる様々な依頼を受ける。



『京都寺町三条のホームズ』
望月麻衣/作 双葉社
B913 カ 1

大学の研究室から追い出され、2学期限定で奈良の女子高に赴任することになった「おれ」(28歳)。生徒にはからかわれたり無視されたりと、教師生活もうまくいかない。近所の奈良公園で鹿に鹿せんべいをあげていると、「さあ、神無月だー一番だよ、先生」と、鹿が声をかけてきた。



『鹿男あをによし』
万城目 学/作
幻冬舎 B913 マ

小道具店でバイトをしている「私」は、店主のナツメに頼まれて鷲森神社近くに住む天城の元へ使いに出る。「天城とは、どんな些細なものでも決して渡す約束をしてはいけない」と、ナツメに言われていたが、つい応じてしまったことから、次第に要求がエスカレートしていく物々交換が始まる。うすら寒くなるような怖い話。旅先で眠れなくなると困るから、こちらは怖い話が得意な人にしてオススメできません。

『きつねのはなし』
森見登美彦/作
新潮社 913 モ



彼女に振られ、傷心の大学生・朽木。友人に頼まれ、京都の御所グラウンドで開催される草野球大会に出場することに。試合当日に集まってみると7人しかいない。メンバー不足を補うため、相手チームの応援に駆け付けた留学生シャオと、ぼんやりグラウンドを眺めていた「えーちゃん」を誘って、即席に9人を集め試合を始める。昨年の直木賞受賞作。

『八月の御所グラウンド』
万城目学/作
文芸春秋 913 マ

